

## アクロレイン (CAS no. 107-02-8)

### 文献信頼性評価結果

示唆された作用							
エストロゲン	抗エストロゲン	アンドロゲン	抗アンドロゲン	甲状腺ホルモン	抗甲状腺ホルモン	脱皮ホルモン	その他*
—	—	—	—	—	—	—	—

○：既存知見から示唆された作用

—：既存知見から示唆されなかった作用

\*その他：視床下部—下垂体—生殖腺軸への作用等

アクロレインの内分泌かく乱作用に関連する報告では、内分泌かく乱作用に関する試験対象物質として選定する根拠が得られなかった。

### 参考文献

Parent RA, Caravello HE, Christian MS and Hoberman AM (1993) Developmental toxicity of acrolein in New Zealand white rabbits. *Fundamental and Applied Toxicology*, 20 (2), 248-256

Parent RA, Caravello HE and Hoberman AM (1992) Reproductive study of acrolein on two generations of rats. *Fundamental and Applied Toxicology*, 19 (2), 228-237.

(平成 24 年度第 1 回化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会 資料 2-2 より抜粋)